

平成 23 年度久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 推進協議会
第 8 回会議 議事録

開催日時：平成 24 年 1 月 25 日（水）17:30～20:10

会 場：久留米市役所 2 階 くるみホール

出席委員： 日高委員 加藤委員 大石委員 大久保委員 柁委員 柄澤委員 西田委員 濱本委員
久保委員 緒方委員 足達委員 岩坂委員 諸藤委員 伊藤委員 四ヶ所委員
縄崎委員 猪口委員

欠席委員： 5 名

傍 聴 者： 0 名

■次第

I. あいさつ

II. 議題

1. 久留米市第 5 期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画素案について・・・資料 1, 2

III. その他

事務局より資料 1、2 に基づき報告ののち質疑応答

○ A 委員

具体的に質問がある。P9 高齢者世帯の状況の中の「その他世帯数」は意味がわからないので、「高齢者のいない世帯数」などの注釈がほしい。

P14 高齢者の世帯状況を 1 行だけで書いているが、要支援者の一人暮らしが圧倒的に多いこともふれてほしい。

P16 相談相手に地域包括センター職員を挙げているが、やはり家族や親族に圧倒的に相談していることをまずふれてほしい。

P18 課題に、単身高齢者・高齢者のみ世帯の支援体制の充実強化という課題もみえてくると思うのでぜひふれてほしい。

P27 要介護認定者数の状況の 3 行目に、要介護 1・2 の認定者数が多いとあるが、要介護 1 ではなく要介護 5 の間違いではないか。

P28 要介護認定者の増加率より介護サービス利用者の増加率が高いためにサービス利用率が上昇しているとなっている理由がわからない。また未利用者についてもふれてほしい。

○ 事務局

P9 「その他世帯数」は注釈をつけてわかりやすくしたい。

○ B委員

P14 は、要支援者の一人暮らしが 43.7%と多い。まだ一人暮らしが出来るから要支援とも言える。これをどのように注釈をつけるか。支援のネットワークの施策に関係してくる。

P50 単身高齢者及び高齢者世帯の在宅生活支援があるのでこれにも関連があると思う。ふれあい活動コーディネーターなど折角なのでここでアピールしてもいい。

○ 事務局

P14 の説明に「要支援者は 4 割を占めている」という文言を入れたい。

○ B委員

P16 相談相手として家族や親族を入れてほしいと言うことだが、当然すぎて書くまでもないかと思っていた。逆に介護サービス職員・ヘルパーさんやケアマネへの相談が開けてきたと読んだ。

○ C委員

ヘルパーやケアマネジャーも相談が多いので、説明文で包括支援センターだけを使わない方がよいのではないか。年々地域包括センターの認知度と相談件数が上がってきているとするほうがよい。

○ B委員

「家族や親族のみならず、かかりつけの医師、職員、地域支援センターの職員、サービス事業所の職員、ケアマネジャーなども多く相談されており、中でも地域包括センターの職員は相談が伸びてきている」としたら、丁寧に読めて、介護保険との関連として事業が順調に伸びていることもアピールになっていいかと思う。

○ 事務局

文章の見直しをしたい。

○ B委員

P18 の課題にもう一步踏み込んで単身高齢者・高齢者のみ世帯の支援体制の充実を入れることはどうか。

○ 事務局

ほかの課題の中身も吟味し検討したい。

○ B委員

P27 要介護 1，要介護 2 だけ多くなっていると書く趣旨は何か。

○ 事務局

増加率は要介護 5 が増えているが、要介護 1・2 はそれぞれの区分の中での人数割合が多いという意味で書いている。わかりやすくなるよう工夫して記載する。

- B委員
P28 の 1 行目の表現についてはどうか。
- 事務局
補足すると、要介護認定者数も介護サービス利用者数も伸びているが、サービス利用者数の増加率が高いためサービス利用率が上昇しているが、利用者 1 人当たりの給付額は横ばいということ。
- A委員
介護認定は受けてもサービスを利用していない方が 2,000 人ほどいることをふれてほしい。
- C委員
入院中の方が含まれるからだと思う。退院後にサービスを利用するために認定の更新だけ受ける方もいる。
- D委員
民生委員としては、安心のために認定手続きを勧めている。何かあればすぐ使ってもらえる。
- B委員
F委員の意見書にも医療との連携を書いてほしいとある。包括支援センターにも相談がかなりいっているようだ。
P28 の 1 行目は少しわかりにくい表現であり、表も読み飛ばす方もいるので全体像を把握するのに文章は大切。いい表現があればよいと思う。
- C委員
P58 見守り活動の推進は、地域の人に具体的に活動内容を示してほしい。どこまで踏み込んでよいのかわからないという声もよく聞くし、地区によつての温度差もある。計画に載せているだけでなく、実際に推進していけると事業者としても助かる。
- B委員
認知症の資料として介護相談員派遣事業の資料があるが、説明はあるか。
- 事務局
介護相談員については各事業所を訪問させてもらい、サービス利用者の要望意見をすくいく取ることを行っている。資料は、介護相談員の質の向上のための研修資料になる。
- B委員
C委員の具体的な見守りの活動内容を、という意見についてはどうか。

○ 事務局

今回の5期の計画では認知症は大きな課題。地域の見守りの中では具体的なものは書き込んでいないが、今後既存の地域での見守り活動との連携を深めていき、サポーターを地域でつくるなど24年度以降について見守り体制をつくっていききたい。

○ B委員

F委員の意見書では、医療と介護の連携が計画の中に踏み込んで書いてほしいとある。
①P57 認知症高齢者と家族の支援では、医師会を通してのネットワークづくりの積極的展開 ②高齢者世帯の在宅支援には医療機関からの支援にも言及すべき ③災害時の援護体制では、地域の医療と介護の役割分担の必要が述べられている。また、地域包括ケアシステムの基盤整備・強化についても「成年後見センター」ならびに「市民後見人の育成」がどのように関係しているのか明確でないと指摘している。

○ A委員

以前、保健福祉センター建設についての議論がでたと思うが、全然ふれられていないので、P43 健康づくりの推進でふれてほしい。

P48 の図の要にある在宅介護支援センターは久留米市にあるのか教えてほしい。

例えば P47 などの記載の仕方で、「～の方」「～の者」と両方使われているので、「～の方」に統一してほしい。

○ 事務局

「～の方」で統一する。

○ 事務局

保健福祉センターは推進が出来ているので今回は外した。

○ B委員

第5期の重要な位置づけなので、決まっているところや方向性を入れた方がよいのではないか。

○ 事務局

今現在ある程度進んでいるということを文章に入りたい。

○ 事務局

P48 の在宅介護支援センターは久留米市にはない。

○ A委員

それを作りなさいということではないのか。

○ B委員

事業所の中にその機能があるし、最終的には地域包括支援センターが在宅介護支援セ

ンターではある。表の中に、ないものを入れると混乱する。図自体もわかりにくい。

○ B 委員

保険料については5期の基準額は5,500円に上がる試案になっている。区切りの標準所得は190万円ではなく200万円で設定されているのか。

○ 事務局

190万円にした場合の影響を試算すると、4期の基準額4,720円が5期5,500円に約800円の増加の見込みであり、さらに190万円から200万円の間の所得の方は、標準所得の区切りを190万円に設定した場合一つ上の段階に上がるので二重に上がることになり、かなりの負担になる。そのため今まで通り200万円にしている。

○ A 委員

P82の表にある、要介護4・5の者の割合と実数が離れた場所にあったりしているの
でわかりづらい。

○ 事務局

確かに表が見にくい。直接の数字と離れて割合を下に置いたが、見やすい表を再度検討する。

○ E 委員

P95 計画の推進体制は非常に大事。計画の進捗状況の点検と評価の実施は、年に1回評価するのか計画期間の3年に1回するのか、庁舎内では推進会議等をするが市民向けの会議はやらないのか。ホームページ等情報開示を積極的にするとしているの
で、中間報告をするのかどうか。

○ 事務局

評価は毎年になると数字の大きな推移も見られないので、26年度
の途中で評価を行う形ですすすめていきたい。市民の理解は、計画が出来たらそれをどう説明して
いくかを事務局で検討していきたい。

○ E 委員

P48の図に、「民生委員」や「社会福祉協議会」といった一番地道に働いている「ボラ
ンティア」がない。地域の課題を把握するのは草の根活動をしている方たちであり、民生
委員を通じて包括支援センターにつなぐ形が出来ているのに記載がない。国が出している
資料を使用しているのだろうが、久留米なりのかたちができているのでは。

P52 災害時の援護体制の、②③は件数が上がっているが割合の方がわかりやすい。

○ 事務局

P48の図は動かしがたいものなので、別の方法で表現することを検討したい。

P52②一人暮らし高齢者宅等への防火指導は、春や秋の火災予防週間という限られた期

間内での対応ということで、パーセンテージで表していない。③の防火指導も消防の把握している施設数は118で、その全ての施設を対象にしているので実数で表現している。

- B委員
参考値として下に現在の施設数・一人暮らし高齢者世帯数を書いたらいいのでは。
- 事務局
了解した。
- A委員
社会福祉協議会に防災士がいて、それぞれ校区に1人ずついる。災害時のコーディネーターが出来る方たちなので、研修会をしてもらったら専門的なことが聞けるので、ここに入れてほしい。
- E委員
防災対策室と共同でいろいろやっているの、そこに入れたらどうか。
- 事務局
内容を確認して検討したい。
- B委員
用語集はどうなるのか。
- 事務局
素案の段階なので掲載していないが、用語集は掲載する。

事務局より資料に基づき介護相談員の説明、追加資料1・2に基づきパブリックコメント、市民説明会、セーフコミュニティについての説明

- B委員
高齢者の転倒予防の必要性は増すので協力したい。
まだ時間があるので、なにか意見があれば事務局や会長まで意見を。

以上